

# 石垣山城跡(小田原市)

図の下の「東口」と記された場所から、東曲輪(下段)～二の丸(馬屋曲輪)～本丸(本城曲輪)～東曲輪(上段)～南曲輪～西曲輪～井戸曲輪、そして本丸北西側の帯曲輪と進んでみよう



「東口」の辺りには様々な説明板が目白押し！

 video



表示板に「旧城道東登口」とある/ここが「大手」とされる

 video



左手を見ると南曲輪南面の石垣が見える

 video



アップで見たところ



少し登って来たところ

 video



左手を見ると、南曲輪(左手)と東曲輪上段(右手)との間の堀切が縦堀状に続いている

 video





石垣山城は、天正18年(1590)、天下統一を目指す豊臣秀吉が小田原北条氏の本城である小田原城を水陸16万の大群を率いて包囲し、その本陣として築城されました。完成と同時に周囲の樹木を伐採し、あたかも一夜のうちに築城したと伝わり、「一夜城」とも呼ばれています。しかし、実際には、4月6日から築城に着手し、本陣を移した6月26日まで約80日間、昼夜問わずに工事が行われました。また、塀や櫓の骨組みを造り、白紙を張って白壁のように見せかけたとも伝わっています。秀吉は、この城に天皇の勅使を迎え、また淀君や千利休を呼んで茶会を開き、参陣の諸大名をなぐさめたりしました。

東国で最初に造られた総石垣の城で、白亜の櫓・塀を備えた近世城郭と呼べるものです。石垣は、自然石をそのまま使う「野面積み」で、近江の穴太衆による当時の最先端の技術によって築かれました。大正12年の関東大震災で天守台などは崩落しましたが、南曲輪や井戸曲輪は崩落を免れ、当時の面影がよく残されています。



小田原城と石垣山城の位置関係

一夜城伝説

『北条記』には、秀吉が一夜にして城を築いたことに「関白は天狗か神か、かやうに一夜の中に見事なる屋形出来るぞや」と、一夜城伝説の一端を伝えています。石垣山城を築城するには山を削り、周囲の木を伐採して、大量の石垣石を掘り出す必要があります。夜間にはかがり火を焚いて、大勢での作業の様子は、小田原城からも逐一確認されていたものと考えられます。むしろ、短期間に築城したこそが、伝説として語り継がれているものと考えられます。



城への登城口は、東口と北口の2か所あり、東口が大手と考えられます。本城曲輪(本丸)を中心に馬屋曲輪(二の丸)、西曲輪、東口の両側に南曲輪と東曲輪が配置されます。本城曲輪の西端に天守台があり、馬屋曲輪の北側には井戸曲輪、さらに北側には北曲輪(三の丸)、西曲輪の西側には大堀切があり、出曲輪が配置されています。こうした城の縄張は、肥前名護屋城に似ており、黒田官兵衛の関与が想定されています。



小田原合戦の攻囲陣立図

小田原合戦の経過

- 天正17年(1589)
  - 11月 秀吉、北条氏討伐の宣戦布告状を発する
- 天正18年(1590)
  - 3月1日 秀吉軍、京を出陣
  - 3月29日 山中城落城
  - 4月6日 秀吉、箱根湯本早雲寺を本陣とする
  - 4月6日 秀吉が築城を指示(現在の石垣山)
  - 5月14日頃 北政所(ねね)に石垣の完成を伝える
  - 6月9日 伊達政宗、秀吉に拜謁
  - 6月26日 秀吉、早雲寺から本陣を移す
  - 7月5日 北条氏直、降伏し、小田原城開城
- 天正19年(1591)
  - 8月 天守に瓦が置かれる



豊臣秀吉  
(大塚城天守複製)



北条氏政



北条氏直

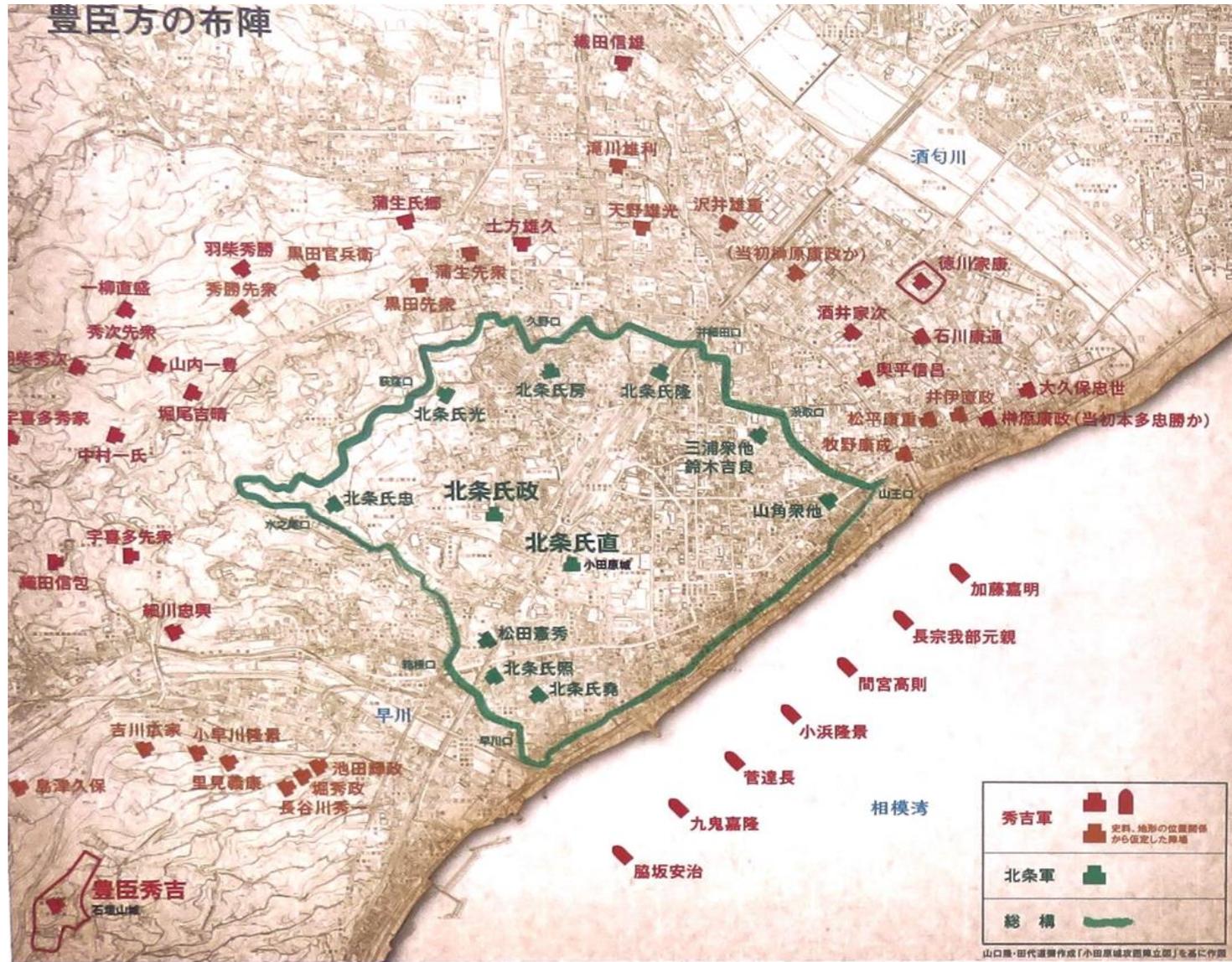


天正19年及び享保(1704)の石垣の瓦  
石垣山城の築城は小田原合戦後も  
続いていたことを示します。

The name of Mt. Ishigaki is derived from the fact that a vast castle with Ishigaki was built in 1590 as a headquarters to attack Hojo Odawara. It is also called "Taiko's overnight castle" because it seemed to have been built overnight by Hideyoshi Toyotomi. (National park area and designated national historic site)



小田原城と石垣山城の位置関係



小田原合戦の攻囲陣立図

史跡  
石垣山



# 石垣山城

Ishigakiyama castle

石垣山城は、「笠懸山」あるいは「石垣山」と呼ばれる箱根から派生する山上にあります。

関白豊臣秀吉が天正18年(1590)の小田原合戦の際に築いた陣城で、徳川家康家臣松平家忠が記した「家忠日記(六月二十二日)」に「石かけの御城」と記されているところから、「石垣山城」と呼ばれています。秀吉が、一夜のうちに城が出現したように見せかけたとの伝承から「石垣山一夜城」とも呼ばれていますが、実際には「聚楽又八大坂の普請を数年させられ候二不相劣様」と、聚楽第や大坂城に勝るとも劣らない普請工事であったことを秀吉自身が書状にしたためており、秀吉入城までに3ヶ月の築城期間を要した関東唯一の豊臣秀吉の城郭です。今も穴太衆により築かれた野面積みの石垣が本丸や南曲輪などの各所に残り、谷を石塁で塞いで井戸とした井戸曲輪の姿は圧巻です。



図1 石垣山城復元模式図

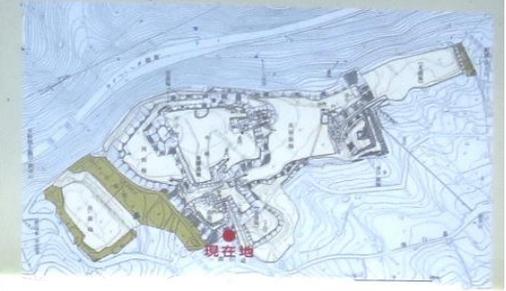
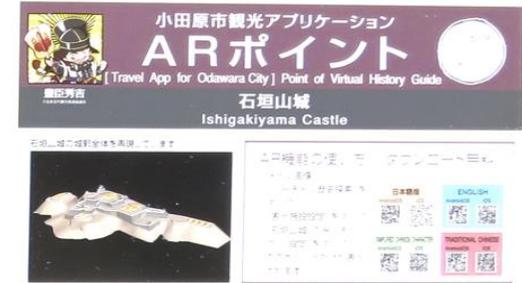


図2 石垣山城縄張図

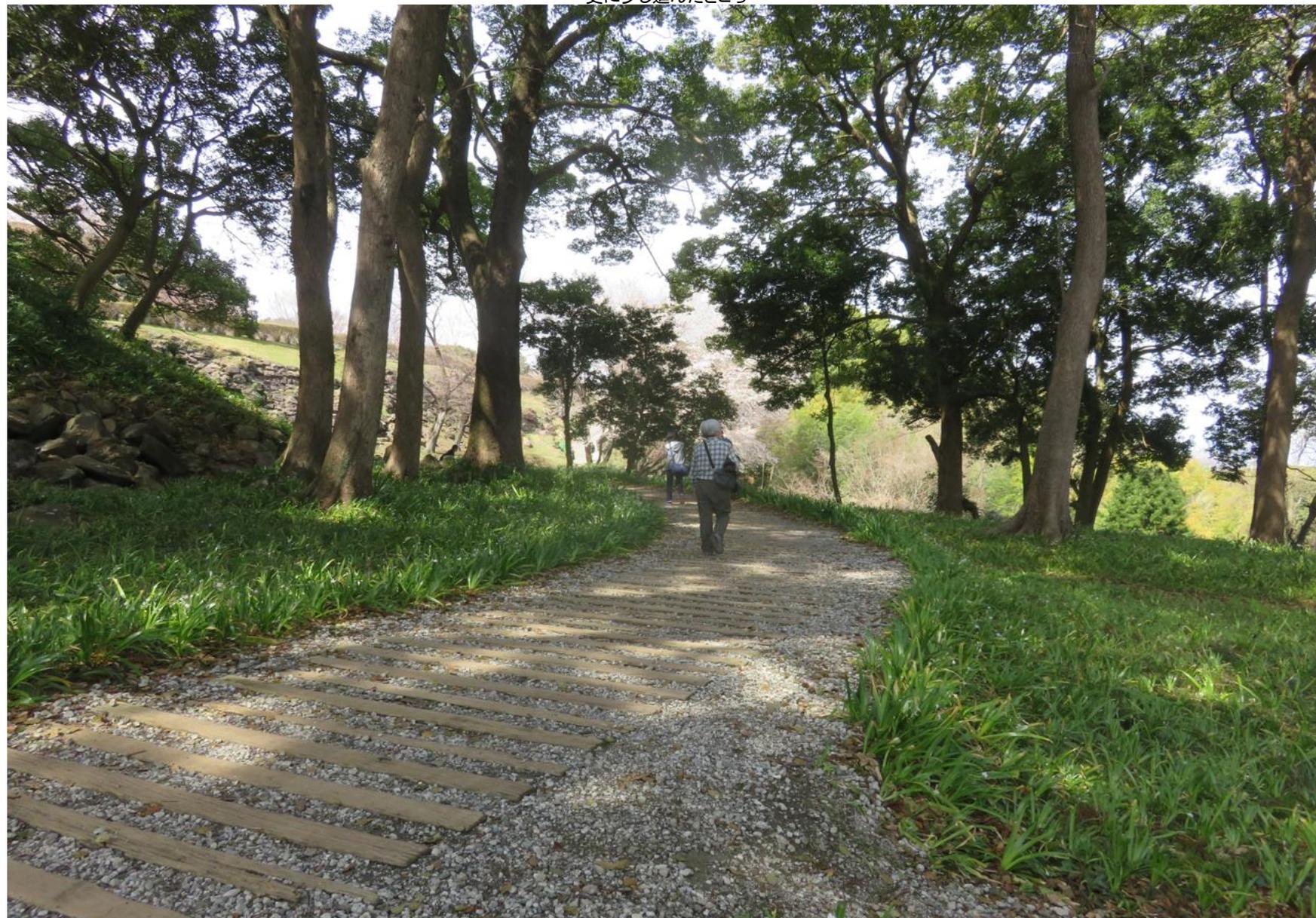


図3 井戸曲輪の様子





更に少し進んだところ



右手は東曲輪下段



左手の上部が東曲輪上段

 video



これは振り返って見た「東口」方向



東曲輪下段の先端(東側)は一段下がっている

 video



そこから東曲輪上段方向を見たところ



さて、更に進むと馬屋曲輪(二の丸)の石垣が見えてくる/石垣の上部が馬屋曲輪

 video



これが馬屋曲輪の石垣

 video



この先で左手に回り込むと馬屋曲輪

 video



少し進んで、振り返って見たところ




**国指定史跡 石垣山**  
 National designated Historic Site Ishigakiyama Castle  
 うま や くる わ  
**馬屋曲輪石垣**  
 Castle stonewall of Umayu-Kuruwa

石垣山の石垣は、古式の野面積みと呼ばれる技法で積まれています。図2に示す馬屋曲輪の石垣は、比較的良好に築城当時の姿を保ち、延長約67m、高さ最大約6m、勾配約60度となっています。規格のない自然石を適切に組み合わせることで、強固な石垣を築いており、構築した技能者の高度な技術が窺えます。

(図2は安全を確保するため平成28年度に実施した保全対策工事前の写真です)

Castle stone wall that characterize Japanese castles are established in the age of warring States(1467–1590). Ishigakiyama, built by Toyotomi Hideyoshi (豊臣秀吉 1537-1598) in 1590, is one of the few castles at which the stone wall from the establishment period remains. This is the reason that Ishigakiyama has high historical value, and is designated as a national historic site. Though the precious castle stone wall of Ishigakiyama is collapsing due to the influence of the earthquake and others, Odawara City implemented countermeasure work to prevent collapse.



図2 石垣南面 保全対策前状況写真 (オルソ画像)

[video](#)

史跡指定年月日：昭和34年(1959年)5月13日

石垣山は、豊臣秀吉が戦国大名小田原北条氏の小田原城を攻略するため、天正18年(1590年)に築いた総石垣の城です。地震等による被害で崩れた箇所もあるものの、今なお雄大な石垣が残っています。秀吉が天下統一を成し遂げ戦国時代が終わる舞台となった歴史的意義と併せ、築城年が限定される築城史上の基準として、学術上価値ある遺跡として史跡に指定されました。

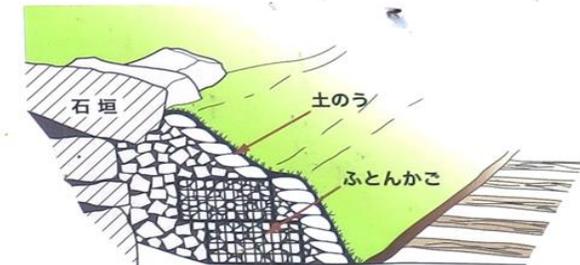


図1 保全対策の内側

石垣には崩れかけた箇所もあり、危険な状態でした。このため、ふとんかごと土のうを用いた保全対策で、石垣を維持しています。

Countermeasure work is held by suppressing stone wall with stone filled baskets and sandbags. This method considers conservation measures of Hizen Nagoy Castle(肥前名護屋城) in Karatsu City, Saga Prefecture.

少し退いて見たところ



ここが馬屋曲輪(二の丸)



## 石垣山一夜城二の丸(馬屋曲輪)

石垣山は、もと笠懸山、松山などと呼ばれていましたが、天正一八(一五九〇)年豊臣秀吉が小田原北条氏の本拠小田原城を水陸合わせて約二十二万の大軍を率いて包囲した小田原合戦のとき、その本営として総石垣の城を築いて石垣山と呼ばれるようになりました。

この城を一夜にして築いたように見せかけたという伝承から石垣山一夜城ともいわれています。

二の丸(馬屋曲輪)は、本丸(本城曲輪)と並んで最も広い曲輪で、中心部分、北へ長方形に張出した部分及び東の腰曲輪部分、これらの三つの部分からなっています。『新編相模国風土記稿』では二の丸として紹介されているが伝承によれば馬屋が置かれ、本丸寄りには「馬洗い場」と呼ばれた湧水もあつたようです。井戸曲輪に行く道の直ぐ横には「櫓台跡」が残っており、他の曲輪にも「櫓台跡」が確認されています。

小田原合戦の当初に豊臣秀吉の本営の置かれた箱根湯本の早雲寺には、一夜城で使用した神奈川県指定重要文化財の「梵鐘」が残っており、どこかの櫓で使用されたと思われるのですが、現時点では、詳細は不明です。

南西方向の本城曲輪(本丸)へ登って行く虎口方向を見たところ

 [video](#)



その左手を見たところ/本城曲輪の石垣が見える



振り返って、北方向を見たところ/右手にマウンドがある



そのマウンドがこれ/「櫓台跡」と記された標柱が立っている

 video



左横から見たところ



そこで、左手を見たところ/ここを下って行くと井戸曲輪があるようだ

 video



また、ここを下って行くと「北口」へ通じており、「関白道」と呼ばれる城の東裾を巡る通路に出れるようだ



同じく、振り返って北方向を見たところ/前方に展望台が見える



ここが展望台/この下に北曲輪(三の丸)があったようだ

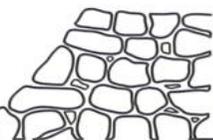
 [video](#)



振り返って、馬屋曲輪方向を見たところ



史跡  
石垣山



# 石垣山の縄張は誰が？

Who made the territory of Ishigakiyama castle?

石垣山城には、同じく豊臣秀吉が築城した肥前名護屋城(佐賀県唐津市)との共通点が多く見られます。両城を比較すると、南曲輪=弾正丸、西曲輪=二の丸、本城=本丸(天守台の位置も一致)、馬屋曲輪=三の丸に該当しているように見えます。井戸曲輪に該当するものは肥前名護屋城にはありませんが、三の丸に相当する場所でちょうど井戸が確認されています。『太閤御陣城相州石垣山古城跡』には描かれていませんが、石垣山城で北曲輪と想定されている部分には、肥前名護屋城には東出丸があり、その類似性は明らかです。

肥前名護屋城の普請は、石田正澄の書状などから黒田長政(一説に黒田官兵衛)・小西行長・加藤清正などが命じられたとされています。しかし、この3人は小田原合戦には参陣しておらず、黒田官兵衛のみ参陣を確認することができます。

石垣山城は誰が縄張りしたのでしょうか？  
石垣山城の謎の一つです。



図1 石垣山城縄張図



図2 肥前名護屋城図 (佐賀県立名護屋城博物館蔵)

小田原市観光アプリケーション  
ARポイント  
[Travel App for Odawara City] Point of Virtual History Guide  
石垣山城  
Ishigakiyama Castle

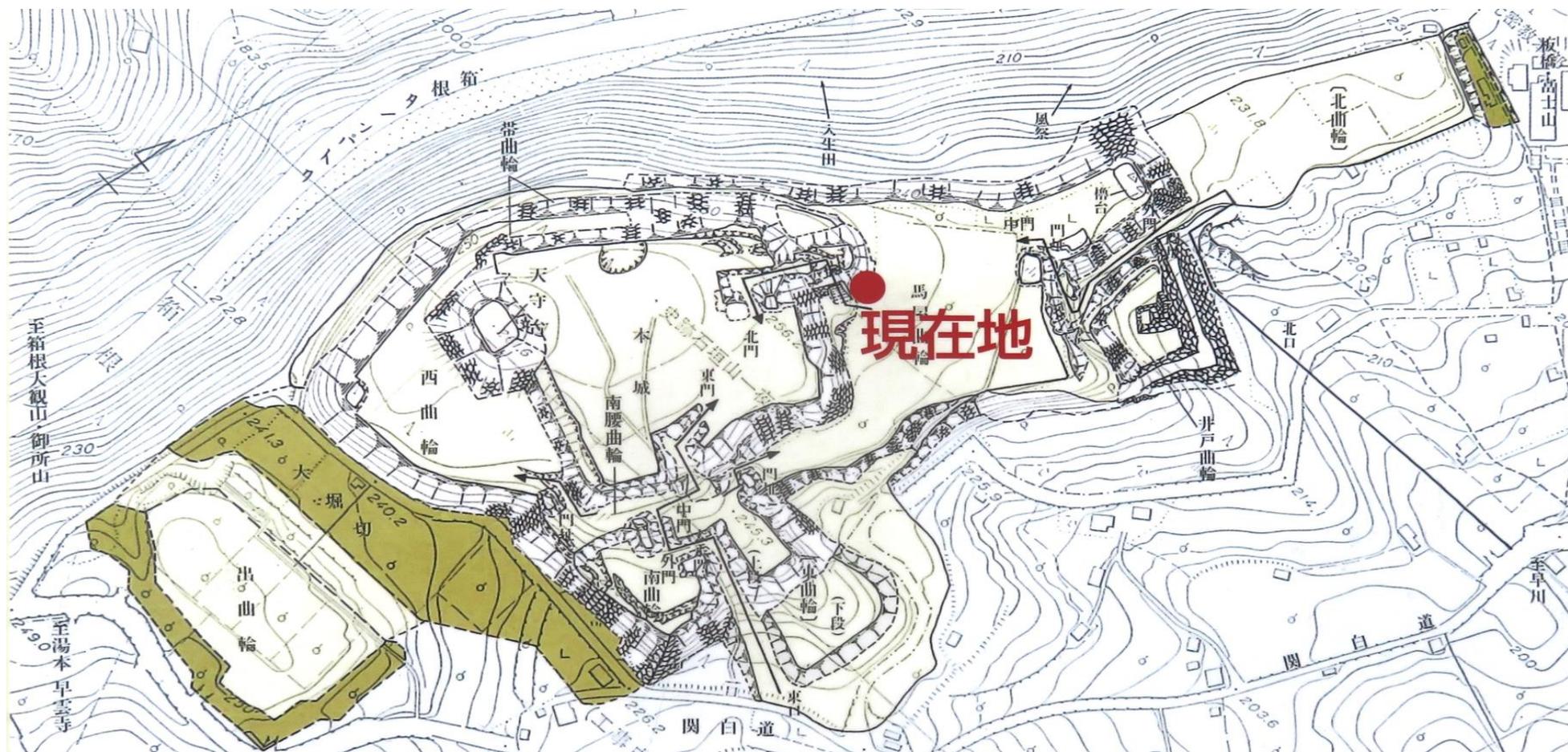
石垣山城の縄張全体を再現しています。

AR機能の使い方  
①メイン画面  
②「バーチャル歴史探検」をタップ  
③「表示調整設定」をタップ  
④「石垣山城」のみにチェックし「設定」をタップ  
⑤このポイントだけが表示されます。

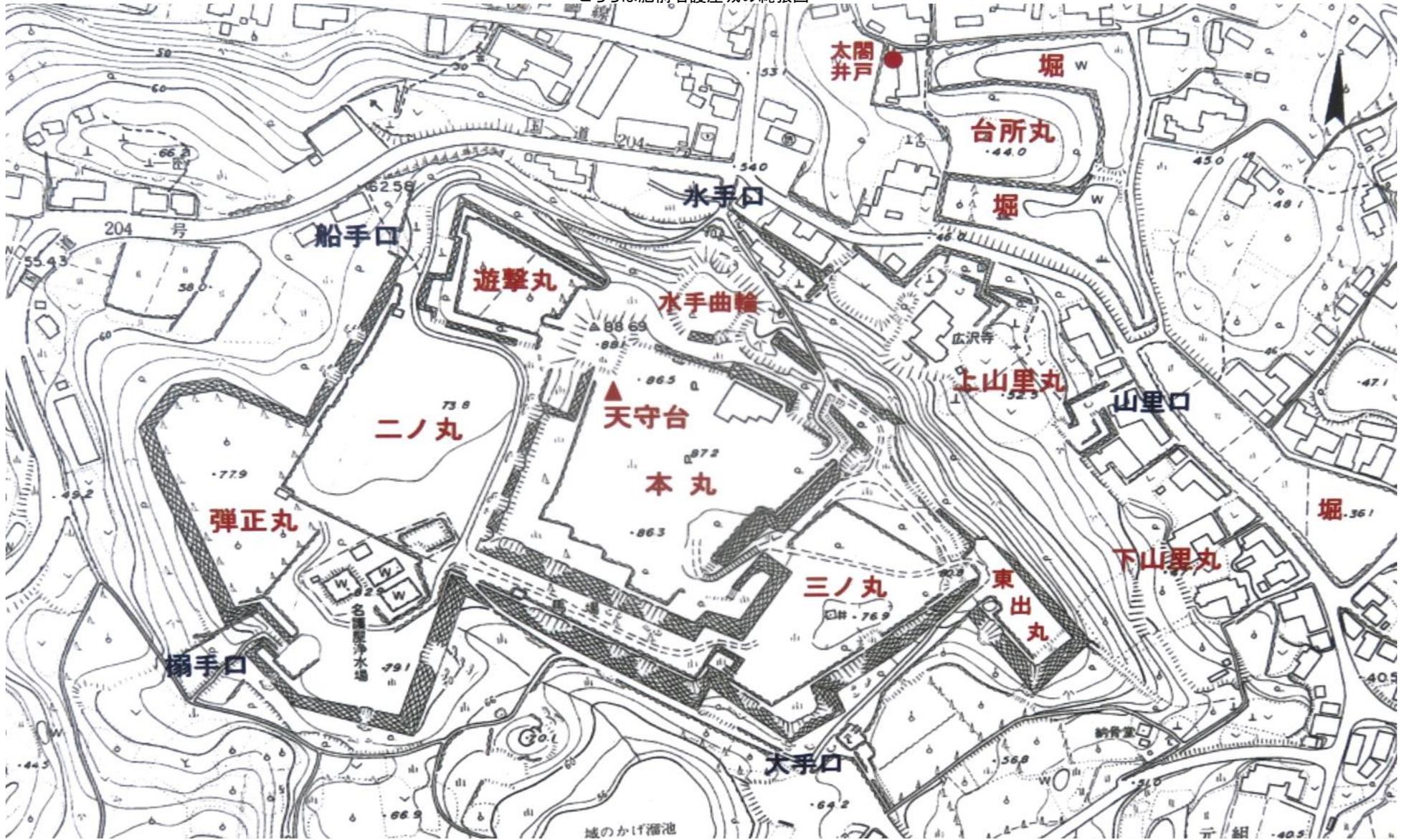
ダウンロード無料  
Free Download

2018.3 小田原市観光局

2018.3 小田原城総合管理事務所



こちらは肥前名護屋城の縄張図



さて、本城曲輪へと登って行こう

 video



本城曲輪の北門への虎口

 video



頂上が見えて来た



そこで、右手を見ると「柵形の鍵折れ」と記された表示板があった



柵形虎口が形成されていたようだ



その先の右手には「門の基台跡」と記された表示板もあった



ここに本城曲輪の北門があったようだ



さて、ここが本城曲輪/天守台跡や物見台跡があるようだ

 video





左前方に天守台跡が見える

 video



少し退いて見たところ

 video



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



前方が天守台跡

 video



アップで見たところ

 video







# 小田原合戦と一夜城伝説

Odawara Campaign and Legend of Ichiyajo

小田原北条氏を攻めることを決意した関白豊臣秀吉は、天正18年(1590)3月1日に京都を発し、4月3・4日には小田原城の攻囲を開始しました。そして、4月6日には早雲寺(箱根町)を本陣とし、その日のうちに笠懸山(石垣山)に登って小田原城を眺望しました。周囲9kmにわたり、壮大な堀と土塁で周囲を囲んだ小田原城を力攻めにするのは難しいと判断した秀吉は、長期戦の構えでこの場所に城を築城することを決めました。

普請は急ピッチで進み、秀吉は5月14日には石垣ができあがって広間・天守などの作事に差し掛かる段階にあったことを、妻の北政所(ねね)に手紙で知らせています。6月9・10日には奥州の雄、伊達政宗が普請中の石垣山で秀吉に伺候します。その時政宗は、前日には無かった白壁を「紙を貼ったもの」と見破り、秀吉を初めとする諸将に賞賛されています(「木村宇右衛門覚書」)。

そして6月26日、秀吉は石垣山に本陣を移しました。これを期に、秀吉は小田原城へと一斉に鉄砲を撃ちかけさせ、小田原北条氏方を脅かしました。このような秀吉の行動や政宗と白壁の逸話が、「小田原城を遮る大樹を悉く斬る。小田原城中より是を見て、笠懸山に附城一夜に成就せるに驚く」(『大三川志』)や「面向きの松の枝ども切りすかしければ、小田原勢肝をつぶし、こはかの関白は天狗か神か、かやうに一夜の中に見事なる館出来るぞや」(『北条記』)との、後の一夜城伝説を生んだのです。

一夜城伝説の真意はともかく、人員を大量動員した築城を可能とする秀吉の権威と財力が、小田原北条氏が降伏する決定打となったのです。



図1 豊臣方の布陣 (小田原城天守閣作成)



図2 伊達政宗像 (仙台市博物館蔵)

小田原市観光アプリケーション  
**ARポイント**  
[Travel App for Odawara City] Point of Virtual History Guide

石垣山城  
Ishigakiyama Castle

石垣山城の城郭全体を再現しています

**AR機能の使い方**

メイン画像「バーチャル歴史探検」をタップ  
「表示設定」をタップ  
「石垣山城」のみにチェックし「設定」をタップ  
このポイントだけが表示されます

**ダウンロード無料**  
Free Download

日本語 英語

2018.3 小田原市観光局



これは馬屋曲輪(二の丸)を見下ろしたところ



ここが物見台跡か？





小田原城が見える

 video



さて、これは本城曲輪の東門の付近から南腰曲輪へ下りるところ



そこで、左手を見たところ/東曲輪の上段が見える



ここが東曲輪上段

 video



そこから馬屋曲輪(二の丸)方向を見たところ

 video



これは南曲輪(右手)と東曲輪上段(左手)との間の縦堀状の堀切

 video



こちらが右手の南曲輪







観光客が竪堀状の堀切を下りて行く/気をつけてね！

 video



さて、この先が西曲輪/右手に表示板がある

 video



南腰曲輪から西曲輪に入る門跡のようだ



ここが西曲輪



前方は本城曲輪(本丸)の石垣

 video



そこで、左手を見たところ

 video



同じく、右手を見たところ

 video



さて、馬屋曲輪(二の丸)から井戸曲輪へ下りて行こう





ここが井戸曲輪

 video



## 国指定史跡石垣山

# 井戸曲輪跡

指定昭和三十四年五月十三日

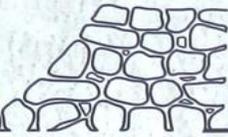
井戸曲輪は、石垣山一夜城二の丸（厩曲輪）北東側にあり、もともと沢のようになっていた地形を利用し、北と東側を石垣の壁で囲むようにして造られている場所です。井戸は二の丸から二十五メートルも下がったところにあり、今でも湧き出る水を見ることが出来ます。この井戸は「淀君化粧井戸」または「さざゑの井戸」とも呼ばれています。

石垣山一夜城は、高い石垣で築かれた東国で最初の近世城郭です。石垣は、あまり加工されていない石を用いた野面積みで、築城に際して西国から穴太衆と呼ばれる石工集団が派遣されていたことが文書に記されています。井戸曲輪の石垣は、石垣山一夜城の中でも特に当時の姿をよく留めている部分で、その石垣の特徴を知る上で貴重な遺構といえましょう。

小田原市教育委員会



史跡  
石垣山



# 井戸曲輪跡

The site of Ido compound of Ishigakiyama castle

井戸曲輪<sup>いどくるわ</sup>は、谷地形を利用して造られた曲輪です。南側・西側には石垣、北側・東側には石塁<sup>せきるい</sup>が造られています。この石塁によって谷を遮蔽し、湧水を貯水する構造になっています。湧水部は、馬屋曲輪<sup>うまやくるわ</sup>（二の丸）から約25m低位にあり、本来は馬屋曲輪（二の丸）東側からスロープと階段で降りるようになっていました。そのため、らせん状に降りる構造から「さざゑの井戸」とも呼ばれています。

石塁は約10m以上の高さがあり、下幅で11~18m、上幅で5~8m程度の規模を有します。このような石塁は石垣山城<sup>いしがきやま</sup>では井戸曲輪のみですが、穴太衆<sup>あのはしゅう</sup>による野面積みの様子がよくわかります。

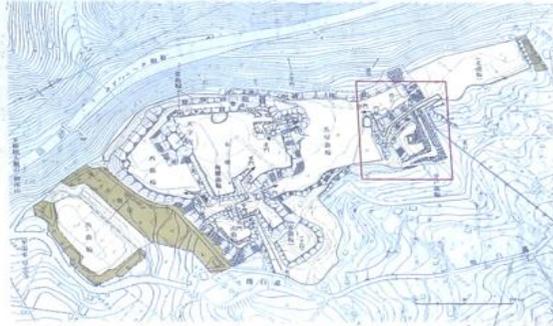


図1 史跡石垣山城縄張図

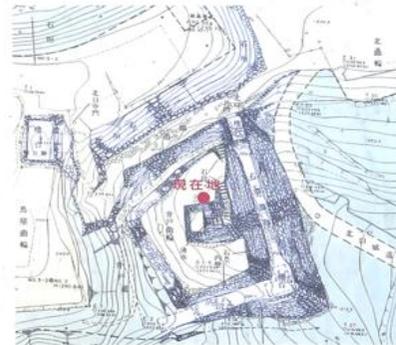


図2 井戸曲輪平面図

小田原市観光アプリケーション  
ARポイント  
[Travel App for Odawara City] | Point of Virtual History Guide

石垣山城  
Ishigakiyama Castle

石垣山城の縄張全体を再現しています。

AR機能の使い方  
①メイン画像「[バーチャル歴史探検]」をタップ  
②「表示設定」をタップ  
③「石垣山」のみにチェックし「設定」をタップ  
④このポイントだけが表示されます。

ダウンロード無料  
Free Download

日本語 ENGLISH

2018.3 小田原市観光局





さて、本城曲輪(本丸)北西側の帯曲輪に沿って、北側から南方向に進んでみよう/この上が本城曲輪

 video



本城曲輪の石垣

 video



南方向に進む

 video



本城曲輪の石垣



更に南方向に進む

 video



この上は西曲輪の辺りか？

 video



西曲輪の石垣

 video



西曲輪の南西隅の辺りで南方向を見たところ/この先が出曲輪のようだが、通行止めとなっていた



西曲輪の南西隅で東方向に折れて進む/この道路が大堀切の跡

 [video](#)



西曲輪の石垣/その上部が西曲輪



更に東方向に進む/この辺りは南曲輪の下辺りか？

 video



「南曲輪下の石垣」とある



野面積の石垣

 video



南曲輪南東隅の石垣

 video



そこで、右手を見たところ

 video



こんな看板もあった

